

豪雨災害における避難について

豪雨時の避難は、タイミングや災害の進展状況によって、一律に市指定避難所に避難すれば良いというものではありません。災害発生をイメージして、自分が避難すべき場所やタイミングをあらかじめ確認しておきましょう。

豪雨災害

洪水害

- 浸水想定区域・浸水深の確認 (P11~参照)
- 避難先の確保 (危険区域外の親戚、知人に事前の依頼)
- 避難経路の確認

大雨警報や河川水位の情報、市から発令される避難情報を収集

浸水前の早い段階で浸水想定区域外に避難することが最も安全

浸水想定区域



浸水想定区域外

- 親戚・知人宅
- 町内会(区)の公会堂
- 自家用車の中
- [開設されている場合]
- 地区まちづくりセンター
- 市指定避難場所

避難!

土砂災害

- 危険箇所の確認 (P31以降確認)
- 避難先の確保 (危険区域外の親戚、知人に事前の依頼)
- 避難経路の確認

大雨警報や今後の雨の降り方などの情報を収集、土砂災害の前兆現象に注意

風雨が強まる前の早い段階で土砂災害の危険区域外に避難することが最も安全



土砂災害危険区域外

- 親戚・知人宅
- 町内会(区)の公会堂
- 自家用車の中
- [開設されている場合]
- 地区まちづくりセンター

避難!

避難!

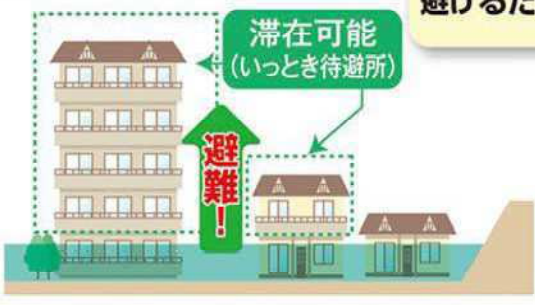
危険区域外への避難

水平避難

情報収集により、早めに危険区域から出る事が大原則ですが、浸水が始まったり、風雨が強まったりした中、屋外に出ることは危険が伴います

屋外での被災を避けるための避難

垂直避難



- 自宅の2階以上
- 近くの堅牢な建物の2階以上の上層階



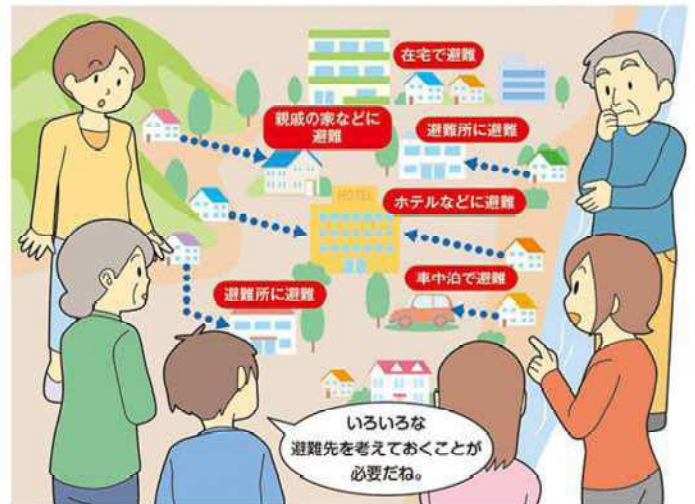
- 自宅の2階以上
- 近くの堅牢な建物の2階以上
- かけ崩れ・土石流が襲ってくる方向からできる限り離れた部屋

風水害時の避難場所

避難する先は、公的な避難場所・避難所にこだわる必要はありません。各家庭の状況に応じて「親戚・知人宅」「ホテル・旅館」「車中泊」「自宅(在宅避難)」など、感染症対策も含めたさまざまな災害から命を守ることができる避難先を想定し、地域の人たちが分散避難することが大切です。

◎早期避難場所

台風や大雨により、市内で河川洪水や土砂災害などのおそれがある場合に、風雨が強まる前や日没前の早い段階で地区まちづくりセンターを「早期避難場所」として開設します。降雨や河川水位などの情報をもとに、早めの避難を心がけてください。まちづくりセンターは、土砂災害の緊急避難場所も兼ねています。



施設	想定浸水深			施設	想定浸水深			施設	想定浸水深		
	富士川	潤井川	小淵井川		富士川	潤井川	小淵井川		富士川	潤井川	小淵井川
吉原 まちづくりセンター	—m	0.3m	1.0m	原田 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士南 まちづくりセンター	1.3m	—m	—m
伝法 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士見台 まちづくりセンター	—m	—m	—m	岩松北 まちづくりセンター	2.4m	—m	—m
今泉 まちづくりセンター	—m	—m	—m	神戸 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士川 まちづくりセンター	—m	—m	—m
青葉台 まちづくりセンター	—m	—m	—m	吉永北 まちづくりセンター	—m	—m	—m	松野 まちづくりセンター	—m	—m	—m
吉永 まちづくりセンター	—m	—m	—m	大淵 まちづくりセンター	—m	—m	—m	鷹岡 まちづくりセンター	—m	—m	—m
元吉原 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士駅北 まちづくりセンター	1.5m	—m	—m	広見 まちづくりセンター	—m	—m	—m
須津 まちづくりセンター	—m	—m	—m	富士駅南 まちづくりセンター	0.7m	—m	—m	天間 まちづくりセンター	—m	—m	—m
浮島 まちづくりセンター	—m	—m	—m	田子浦 まちづくりセンター	2.7m	0.4m	—m	丘 まちづくりセンター	—m	—m	—m

※岩松まちづくりセンター、富士北まちづくりセンターは、河川洪水による危険性が高い施設のため、開設しません。

(岩松まちづくりセンター:富士川の想定浸水深が3.0m(2階床面相当)以上、富士北まちづくりセンター:潤井川の家屋倒壊危険ゾーン内)

※施設が浸水想定区域内にある場合は、施設の上層階に避難してください。

◎洪水時車いっとき避難場所

洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発表された際に、感染症への不安などから危険区域からの避難を躊躇しないよう、車による一時的な滞在場所として開設します。開設する3施設は洪水浸水想定区域外ですが、事前に安全な避難経路を確認し、避難経路の道路冠水など危険が伴う状況での移動は避けましょう。

施設名
富士総合運動公園駐車場A
富士西公園駐車場
富士信用金庫研修センター東側駐車場

◎風水害時の緊急避難場所

洪水、土砂災害等の災害の危険が切迫した状況において、緊急に避難する場合の場所や施設です。河川ごとに発表される洪水についての警戒レベル3以上の避難情報が発表された後に、浸水が想定される地区内の学校施設を風水害時の「緊急避難場所」として開設します。河川ごとに開設される施設が異なりますので、事前にP12~P14を確認してください。

避難場所を決めるために

浸水継続時間を、ふじタウンマップ(P11参照)で確認しましょう。浸水してから水が引くまでに2日間(48時間)以上かかる場所もあります。

浸水してしまうと、電気・ガス・水道・トイレなどが使えない状況で長時間生活することになります。垂直避難をする場合、2階以上に水・食料・防寒用品・携帯トイレなどを備蓄しておくことが必要です。市指定緊急避難場所へ避難する際も、非常持ち出し品として持参してください。